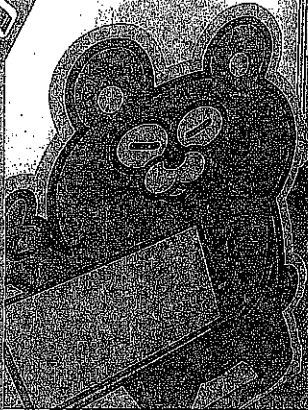


多彩な
ビジネスを展開

06
000
00



ハンディ背負う
人材を活かす

見れるようにしている。「優秀なママは大きな戦力です」と熊野賢社長。ECサイトの通販サービスに従事する。

一方、外部の人材として北海道から沖縄まで全国約60の障がい者施設と仕事のネットワークを構築している。知的、精神障がい者約1000人に対して、

働き方改革と
生産性革命を
実践

雑誌の記事をWEB向け加工したり、スマホケースの配送業務、伝票入力、検品作業などを発注する。

今年2月から本社事務所の隣に、就

KSパートナーズ（☎06・6643・9011）は、障がい者、子育て中のママなど仕事でハンディを背負う人材を活用、多彩なビジネスを展開。障がい者、子供と一緒に働ける女性パワーの活躍で人手不足を解消、働き方改革と生産性革命を実践する。

労継続支援B型施設をオープンし自ら運営する。「自社で行うことで、障がい者施設への発注のヒントになる」と話している。

障がい者施設向けの仕事は月額300万円程度だが、近い将来は月額1000万円まで高めたい計画だ。

障がい者、子育て中のママなど

2010年の設立。メディア、輸入代行などの貿易、通販サービスなどの事業を行う。スタッフは14人でうち女性12人。

自社の人材に加え、社外にネットワークを構築、外部人材も積極的に活用する。まず、社内の女性スタッフは子連れ出勤が出来る。

大阪市阿倍野区の本社事務所の近くのマンションでは仕事場と子ども遊び部屋をセットにし、働きながら子どもたちの面倒が